

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
「 課題研究 」	測量（実教出版） 土木施工（実教出版）	2 単位	土木科・第2 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1 工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付け、活用できるようにする。</p> <p>2 工業に関する課題を発見し、工業に携わる者として独創的に解決策を探究し、科学的な根拠に基づき創造的に解決する力を養う。</p> <p>3 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
---------	--

2 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査
1 学期	1 オリエンテーション	4	<p>・職業について考えることで、専門的な知識・技術がインターンシップの事業所先に活用されていることを理解する。</p> <p>・地域の課題を知り、その解決に向けて思考することで、自分自身の課題を知り、その解決に向けた進路や生き方を養う。</p> <p>・インターンシップを実施する目的をしっかりと理解し、勤労観や職業観について学び理解する。</p>	中間
	2 職業について考える	5		
	3 地域の探究	6		
	4 インターンシップの目的と心構え	7		期末
	5 インターンシップ先の選定			
2 学期	6 インターンシップ (1) 事前指導 (2) 安全教育・礼法指導 (3) インターンシップの実施 (4) 事後指導 (5) インターンシップ発表会準備 (6) インターンシップ発表会	8	<p>・インターンシップにおける実習を通して、勤労の厳しさや尊さ、ものを作り上げるための苦労や感動、責任の重さ、安全への配慮、改善点の発見に努める姿勢などを体得させるとともに、土木に関連する知識と技術を総合的、発展的に習得する。</p> <p>・インターンシップ発表会を通して、産業現場で学んだ学びを振り返るとともに、自分の知識や情報をプレゼン等で相手に伝えるコミュニケーション能力を養う。</p>	中間
		9		
		10		
		11		期末
		12		
		3 学期		7 課題解決に向けた学習 8 進路探究 (1) 企業の研究 (2) 仕事内容の研究
2				
3				

3 評価規準及び評価方法

(1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	工業に関する課題を発見し、工業に携わる者として独創的に解決策を探究し、科学的な根拠に基づき創造的に解決する力を養うことができる。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。

(2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	インターンシップにおいて、適切な知識と技術が身に付き、記録の整理等をきちんとまとめているか、また課題解決に必要な知識や技術を体得できているかなど、総合的に評価する。	インターンシップにおいて、適切に判断し行動できる能力を身につけているか、また記録の整理状況や発表内容及びレポートや班別活動、プレゼン内容等で総合的に評価する。	インターンシップの意義を理解し、意欲的に取り組むことができているか、また発表会などを通して、能動的に学び続けようとしているかなど、総合的に評価する。

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの目的を確認し、学校での事前指導、事後指導に真剣に取り組んで下さい。 ・インターンシップ等での実習は、指導者の諸注意をしっかりと聞き、特に安全作業に気を付けて下さい。 ・記録や発表は、事業所の方も見られるので、丁寧に作成することを心がけて下さい。 ・コミュニケーション能力や礼儀など、将来社会に出ていく上で必要な「生きる力」の習得を目指して下さい。
--